授業科目名	保健体育科教育法Ⅱ	授業形態	講義	授業科目区分	教職科目 (専門)
担当教員名	鵜木　親志・下大迫　晃			補助担当者名	
単位数	2　単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	180名程度
授業の概要	本講義は，学習指導要領の内容を基盤として，教育現場における保健体育の学習指導の在り方について総括的な理解を図ることをねらいとする。具体的には，保健体育科の学問的性格，体育及び保健の授業における「目標―内容―方法―評価」についての理解，体育及び保健の「授業の構造」についての理解を深めるとともに，理論と実践のつながりを明確にしながら，「単元及び単位時間の授業計画立案」についての基礎知識が深まるようにする。				

授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
			授業期間				定期試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	保健体育の目標，運動領域の特性，学習過程，学習評価について説明することができる。		○			○		50
	■情意的領域	保健体育の授業についての考え方・進め方の理解に向けて意欲的に取り組むことができる。	○		○				30
	■技能的領域	ポイントを押さえてレポート（年間指導計画，単元計画，指導案等）を書くことができる。			○				20

成績評価の基準	毎時間の積極的な取組や学習内容の理解度及びレポート提出など，総合的に評価する。出席が２/３に満たない場合は履修放棄とみなす。
テキスト、教材 参　考　書	・文部科学省　中学校学習指導要領解説（保健体育編）20年9月　ぎょうせい ・文部科学省　高等学校学習指導要領解説（保健体育編・体育編）21年12月　東山書房 ・「保健体育科教育法」　本間啓二　後藤彰　白旗和也　永井大樹著　アイオーエム ・「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」（中学校保健体育，高等学校保健体育）国立教育政策研究所
履修条件・ 関連科目	３年次の保健体育科教育法Ⅲ及び４年次の教育実習への基礎固めの講義となる。
備考(教員メッセージ含む)	保健体育教師を目指すためには，学習指導要領をしっかりと理解しておく必要があります。学習指導要領の各領域の内容・取組について理解を深めてください。これが３年次の保健体育科教育法Ⅲ及び４年の教育実習の基礎になります。
オフィス・アワー	随時 : 鵜木（609号室）　下大迫（院棟3F第1教員室）

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	鵜木　親志 下大迫　晃	オリエンテーション，保健体育とはどのような教科なのか，学習指導要領の趣旨など	
2	〃	体育学習の指導①（体つくり運動）	講義資料の復習
3	〃	体育学習の指導②（器械運動）	講義資料の復習
4	〃	体育学習の指導③（陸上競技）	講義資料の復習
5	〃	体育学習の指導④（水泳）	講義資料の復習
6	〃	体育学習の指導⑤（球技）	講義資料の復習
7	〃	体育学習の指導⑥（武道）	講義資料の復習
8	〃	体育学習の指導⑦（ダンス）	講義資料の復習
9	〃	体育学習の指導⑧（体育理論）	講義資料の復習
10	〃	単元計画の作成（体育実技）	講義資料の復習
11	〃	学習指導案（体育実技）の書き方，学習指導案（体育実技）の作成	講義資料の復習　学習指導案（体育実技）の提出
12	〃	保健の学習指導①（中学校「保健分野」）	講義資料の復習
13	〃	保健の学習指導②（高等学校「科目保健」）	講義資料の復習
14	〃	学習指導案（保健）の書き方，学習指導案（保健）の作成	講義資料の復習　学習指導案（保健）の提出
15	〃	（学校給食記念日，学校給食週間）　授業のまとめ	
16	〃	学期末試験	